

# Drizzling Rain

Kantai Collection "Admiral Shigure"  
Words Worth 2014 Summer



For ADULT Only.



白露型2番艦 駆逐艦  
時 雨

横須賀・浦賀船渠で起工し、1936年9月に竣工。

1943年10月の第二次ペララペラ海戦では五月雨とともに敵艦に被害を与えその戦果は高く評価される事になる。

1943年11月のブーゲンビル沖海戦、1944年10月のスリガオ海峡海戦では自分以外の味方が全滅する事態を経験する。

スリガオ海峡海戦では雨のような砲撃のなか戦艦・扶桑と山城の壮絶な最後を看取りながらただ一隻生還した。壊滅的な状況から何度も生還を果たした事から「佐世保の時雨」と称された武勲艦。幸運艦とも呼ばれている。

—— 皆が忘れても 僕だけはずっと覚えているから —— …。

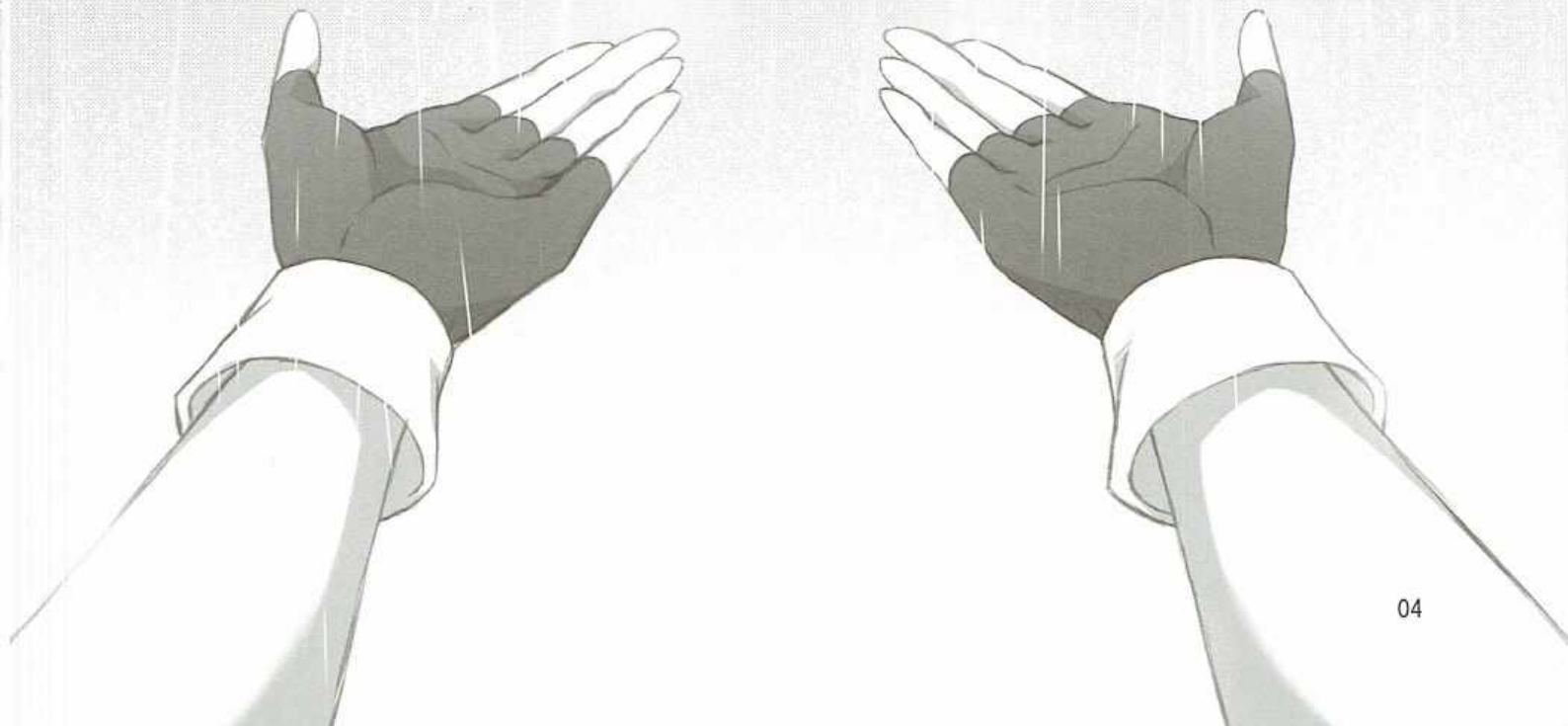
—雨

雨を見るたび  
その雨粒を受けるたび  
思い出す

それは艦の記憶  
この身になる前の記憶  
それは自分にとって  
かけがえないもの——…

そして——…

## Drizzling Rain







？  
どうしたの  
時雨？

…ううん  
なんでもない  
行こう



さあ  
最っ高にステキな  
パーティーしましょ♪  
くすくす

—  
♪  
Vnato



——逃がさないって  
言っただろう？

オ

オ

オオ

オ



それは  
よかった

今回の作戦も  
全艦無事帰投  
ですよ 提督

第一艦隊の  
被害状況は？



では、帰投した  
彼女達に  
十分な補給を  
お願いします

ええ 疲労回復の  
アイスやお饅頭も  
バッチリ  
用意してますわ



第一艦隊  
帰投しました



うん 作戦終了だね  
皆が無事で  
よかった

えへ！  
敵艦隊  
殲滅したっばい！

うふふふ  
じゃあ  
帰りましょ



たっだいまー♪  
提督さん!

夕立  
今回の作戦も  
頑張ったっばいー!

どーん!

ぐは!?

だから  
提督さん  
ほめてほめてー♪

その前に  
何か言う事とかし  
気をつけることとか  
あるんじゃないのか!?

びんぽん

夕立、あんまり  
提督のジャマしちゃ  
だめだよ?

大丈夫?  
提督  
なんかすごい音が  
したけど...

あ...ああ...  
こいつのおかげで  
身体が大分  
丈夫になったからな



提督  
今回の作戦の  
報告書を  
持ってきたよ

ありがとう  
今回の作戦も  
全員無事帰投で  
よかった

時雨が旗艦だと  
皆の戦力も  
安定していて  
安心して  
任せられる

ううん  
僕力なんて  
些細なものさ  
皆と...提督の  
おかげだよ

そんな事はない

時雨はここにきてから  
よくやってくれてるよ



時雨！  
夕立、先にご飯  
行ってるね！

間宮さん、行こー！

え？夕立  
僕もすぐに…

いいから  
いいから♪  
時雨は  
ゆっくりここに  
いていいからね



夕立が  
ああやるのは  
提督のこと  
信頼してるって  
証拠だよ

はい  
提督様



ホント、いつも  
台風みたいだな  
夕立は

フワッ〜  
フワッ〜  
フワッ〜



毎回全力で  
突進してくるようになしか  
見えないが…？

懐いてるんだよ  
心を許した人にしか  
そういう事しないもの

それだけ  
信頼してるって  
ことさ



いつも賑やかだから  
わからないと思うけど

あの子は人を  
よく見る子だからね  
提督の事ちゃんと  
見て信頼してる

僕も秘書艦として  
ずっと見てきたからわかる

まだ僕達の事は  
解明されていないから  
僕達を使うのは  
外部の圧力もあって  
大変なのに

提督が僕達の為に  
色々してくれてる事も  
わかってる

僕たちがこの姿まで  
なれたのも  
提督のおかげだよ



だから  
皆 提督のこと  
信頼して頑張ってる  
僕、  
この隊と  
提督が大好きだよ

でも  
俺としては  
そろそろ  
時雨個人の話も  
聞いて  
みたいんだけどな



まあそう言われて  
悪い気はしないが…

こうして成果を  
あげられるのも  
時雨がずっと秘書艦として  
俺と皆の橋渡しを  
してくれたおかげだしな



…僕のこと？  
任務のこと  
じゃなくて？

ああ  
今までそういうの  
話した事なかったろ？



人間が  
兵器じゃない時の  
僕達に興味があるなんて  
珍しいね

ひょっとして  
提督の仕事に  
関係あるの？

い…いや  
仕事は関係なくて  
個人的に知りたい  
だけというか…  
その…なんだ





…時雨はいつも  
自分の事より  
彼女達の事を  
気にかけて

配属して  
大分経つのに  
自分の話も  
しないだろう？



まるで  
意図的に  
自分を押し殺してる

時々そんな風に  
見えてな



…まあ多分  
気のせいだ  
今のは  
忘れてくれ



それに  
気が乗らなかったら  
今じゃなくても…



…自分の話を  
したことないから

うまく言えるか  
わからないけど…

僕は 当時艦<sup>ふね</sup>だった頃の記憶を持って生まれる

この隊に  
いることができて  
すごく嬉しい

艦<sup>ふね</sup>だった頃は  
こんな気持ち  
なかったから  
戸惑うことも  
あるけれど…

皆や  
提督と一緒に  
過ごせる  
この毎日が  
楽しいって思う

僕にとっては大事な記憶。

それは彼女達の最後の記憶

…でも  
時々考えるんだ

…提督  
僕は…

そして……

もう  
こんな時間だし  
僕も戻らないと

いや  
まだ大丈夫だぞ？  
それに時雨が  
自分の事を  
話すなんて  
初めてじゃないか  
だから…

…うん。  
でもこの話は  
また今度ね  
明日の作戦に  
備えて休まなきゃ

…  
ううん  
…なんでもない

じゃあ  
お休みなさい  
提督も  
ちゃんと休んでね

バクン！

…



もー！  
これじゃあ  
戦えないっ  
ほい！



夕立退いて！  
応急修理装備  
なしで  
次、砲撃受けたら…



その中で  
また僕は…

弾幕の雨

雨

あんな光景は  
もう……！！



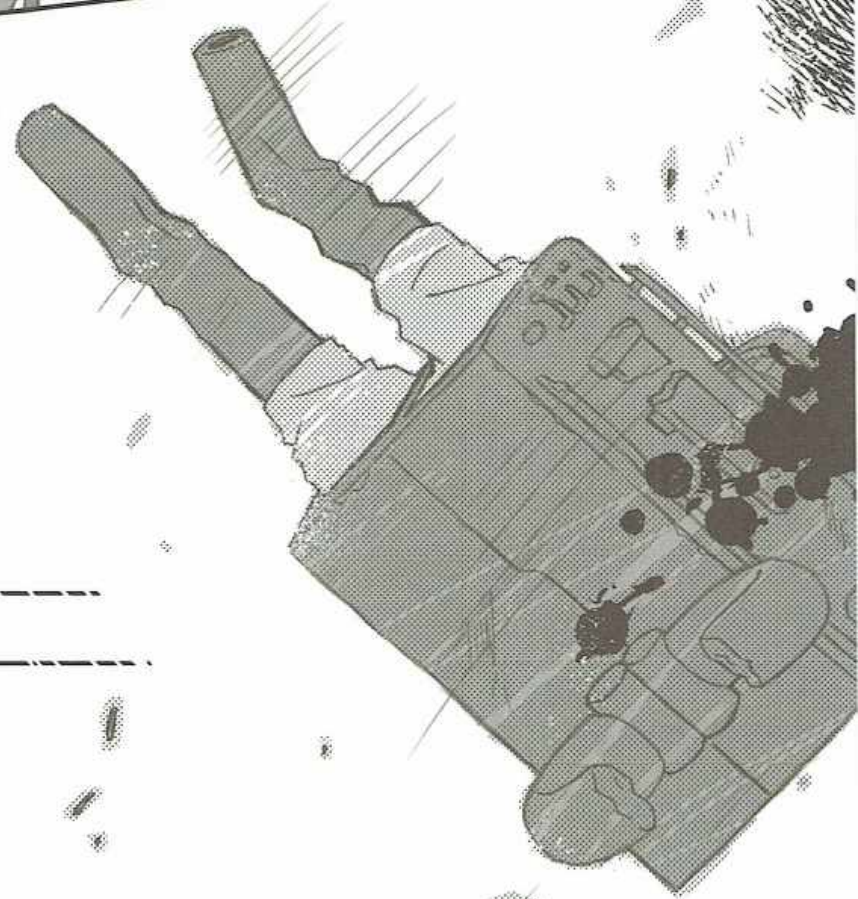
夕立！！





早く……!!!

逃げて!!



……… ……ねえ 提督

僕は …… ……

僕はまだ、ここにも大丈夫なのかな…

第一艦隊  
帰投しました  
……

——繰り返シ  
第一艦隊帰投  
被害状況——

全艦帰投  
隊ノ半数以上  
中破大破——  
旗艦時雨大破  
入渠後回復兆候無シ

……

時雨が…

時雨の様子がおかしいの…  
入渠してもなにしても全然治らないんだ…



応急修理で大きな損傷は治癒しましたが状態はよくありません  
おそらく精神的なものが原因かと…



私達は船霊に近い存在ですから精神：気力が影響するんです

彼女はどこか生に執着しない所がありましたから…



このままだと全機能が停止して廃棄処分に…

いや!!

お願い提督  
時雨を助けて!!



この状態になったら夕立達じゃダメなんだ提督じゃなきゃ…!!

時雨はずっと自分より夕立達の事ばかり気にかけて…

でも、この艦隊が大好きだって…一緒にいたいって…

それに時雨は提督のこと…

やっと時雨が自分の望みを見つけたところなんだから…  
だが…  
どうすれば…!!

提督

そのことでお話が…





…気がついたか？



！  
夕立は!?  
艦隊の皆は!?

落ち着け  
君以外は  
皆無事だ

皆が心配するから  
今日は俺の部屋に  
運ばせてもらった

ていどく…?  
ここは…



そっか  
夕立も皆も無事…

そっか…  
よかった…



今は自分の身体の  
心配をしろ

大淀から聞いたが  
このままだと  
君の身体は…





氣力が戻らなければ  
廃棄処分だね  
わかるよ  
自分の身体だから

こうしてる間にも  
身体に力が  
入らなくなってきたからね

唯一の回復方法は  
氣力を取り戻す事  
だそうだな

その後  
間宮さんが  
用意してくれた  
これを食べれば…



…いいよ  
このまきで

また  
同じ事をして  
皆に  
迷惑かけるかも  
しれないし

それに 最後に  
仲間を守れたから  
それで僕は…

何も思い残すことがない—か…

…こうなるのが  
本当の  
君の望みなのか？

迷惑をかけるから？

ただ自分が  
ここから逃げたい  
だけじゃないのか？

逃げる、なんて

——違う

そんなふう  
に思ったこと  
ないよ…

どう  
だかな

前に話  
してた

艦隊に  
いたいと

言った  
のも建  
前で本  
当は

自分  
が納  
得で  
きる

死に  
場所  
を

探  
して  
いた  
だけ

**違う!!**

皆と  
一緒  
に居  
たい  
気持  
ちに  
嘘は  
ない

本  
当に  
僕に  
とっ  
て  
大  
事  
な…

**ズン**

おい!

まだ

動  
く  
な…!

でも  
僕  
は…!

僕  
は…

降り注ぐ雨のような弾幕と凄惨な光景。海に沈む僚艦

かつて艦<sup>ふね</sup>だった記憶。彼女達の最後を看取った記憶



雨のような砲撃のなか 僚艦の最後を看取り ただ一隻生還し



その後も壊滅的な状況から何度も生還を果たした武勲艦





全く...

そうやって一人で抱え込もうとするな  
なんの為に仲間や俺がいると思ってる

折角 感情を出せる姿になったんだから  
もう少し自分に  
対して我侭になれ

潰れる前にそうやって泣きたい時に泣いて俺達に寄りかかって吐き出せよ  
時雨が俺達を想ってるように俺達も時雨の事を想ってるんだからな



わあああああ

あああ...  
ふん...  
ふん...



お、すごい効果だな  
細かい傷も完治して  
顔色も良くなった

気が戻ったからね  
間宮さんのアイスを引き金に前に治療した効果が表れてくれたんだよ

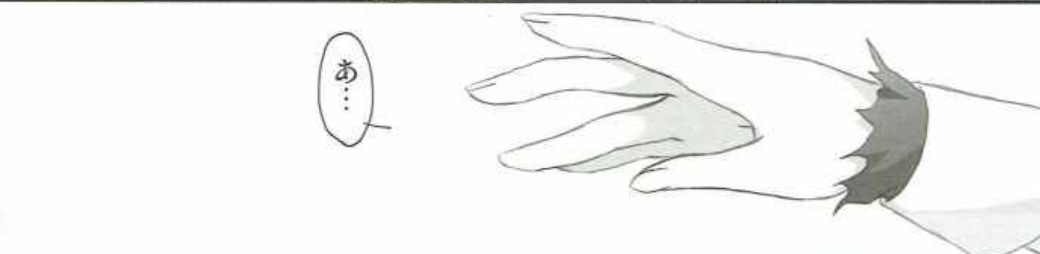
間宮さんのアイスを引き金に前に治療した効果が表れてくれたんだよ



...ごちそうさま  
でした



完治して本当によかったな  
もう帰っても大丈夫だぞ  
皆に元気になった姿を見せてやれ



あ...



いきなり何言って…

時雨、お前意味わかって言ってるのか!?

あと…お前女…!!  
どい…  
だまの…

そ、そんなこと僕だってわかってるよー



え…えっと…今夜は…その…

このまま提督の部屋に居てもいい…かな…?



…!?



今 提督と離れたくないもっと提督の事を知りたい…これが僕の正直な気持ち

もっと一緒にいたい僕のことを知って欲しいって…

ずっと前から僕の胸の中にあるなにかが苦しいんだ

…わかってるよ…でももう少し我儘になれて提督が言ったんじゃないか



いやな…訳がない

俺は…

ひたむきで

ずっと…お前が…

純粹で



提督は…僕とじゃいや…?

いやなら遠慮なく言ってる?

彼女達は



ずっと抑え込んでいた  
時雨<sup>時女</sup>への想いさえも

…本当に  
いいのかわ?

言っておくが  
痛みもあるんだぞ?



…うん  
提督が思うまままで

そのままの心で  
ぼくに触れてほしいんだ  
痛みも暖かさも教えて欲しいから

その心で  
あっさりと暴いてしまっ



は……っ

んん……っ



提督?



…あ…っ

はあ…

ちゅ



提督!!  
何して…

!?



この下着はもう  
使えないだろう?

そ…そうだけど  
どうして…

…ここを  
触るのは  
初めてか?

ちゅ  
ちゅ

すり  
すり

ちゅ

はっ

あ…っ



う、うん…  
あ…!!

僕そんなこと  
いじったこと  
な… あ…

ぬちゅ

ふあ…っ

ぬちゅ…

ちゅ

ちゅ

ちゅ

すごいな…  
初めてのなに  
もう指を  
吸い込みそうなくらい  
トロトロだ



わかった  
...なら少し  
動くぞ?

僕は  
大丈夫だから  
続けて...

大丈夫か?  
時雨...  
一旦止めても...

うん...  
いた...





もう……大丈夫だな……？

う……んっ  
はっ……  
はっ……  
はっ……

は……っ  
はっ……

あ……っ  
はっ……  
はっ……

あ……ん……っ

あ……っ  
はっ……  
はっ……  
はっ……

は……っ  
はっ……  
はっ……  
はっ……

あ……っ  
はっ……  
はっ……

は……っ  
はっ……  
はっ……

あ……っ  
はっ……  
はっ……  
はっ……



あ……っ  
はっ……  
はっ……  
はっ……

あ……っ  
はっ……  
はっ……

あ……っ  
はっ……  
はっ……

あ……っ  
はっ……  
はっ……  
はっ……

あ……っ  
はっ……  
はっ……  
はっ……

あ……っ  
はっ……  
はっ……  
はっ……

あ……っ  
はっ……  
はっ……  
はっ……

あ……っ  
はっ……  
はっ……  
はっ……



時雨...?

座って  
僕がキレイに  
してあげる  
うまく  
できるか  
わからないけど...



ん...  
はあ...

てーとく...  
いっぱい  
出たね...



...うまく  
できてなかったら  
遠慮なく言ってね

ちゅ...

ん



提督の腰  
気持ち良さそうに  
震えてる...

う...!

ん...

はむ...  
ちゅ...

ちゅぽ...

あ...

ぞく...

ん...?

ちゅぽ...  
ちゅぽ...

ちゅ...

ぬる...

んっ...ふ



すごい...  
提督のもう  
こんなに  
おっきく...

ちゅぽ...  
ちゅぽ...

ちゅぽ...

ちゅぽ...

ちゅ...

僕の口のなかで  
びくんびくんって  
動いて...



?

提督…?  
僕、うまく  
できなかった?

いや…  
すごく良くて  
口の中に  
出しそうになった  
くらいだよ  
でも…

ぐいっ  
しゅっ



出すなら  
また時雨の  
中がいい

ど

せ

あ…っ



ぬ

ぞ

ぞ

ぞ

あ…っ

提督の  
まだ中に…っ

あ…っ

しゅっ  
しゅっ  
しゅっ

は…っ  
あ…っ  
あ…っ

しゅっ  
しゅっ  
しゅっ



んっ...あ...  
てーとく...  
なに...これ  
ぼく...っ

...く...  
な...ま...り  
膣内...  
うね...っ

ぼくの...  
からだ...  
勝手に...っ

あ...  
あ...  
あ...

あ...  
あ...

あ...  
あ...



あ...  
あ...

あ...  
あ...



これなら  
一番奥まで  
挿入しても  
大丈夫そうだな

...っあ...  
挿入するだけで  
ビクビク  
奥から震えて...

あ...  
待...

あ...  
あ...





あーあーあー

びく

あーあーあー

あーあーあー



提督……



はあ……

びく

あー……

ありがとう……

アアア……





提督も  
雨を見に来たの？  
霧雨だから  
すぐ止むよ

時雨……



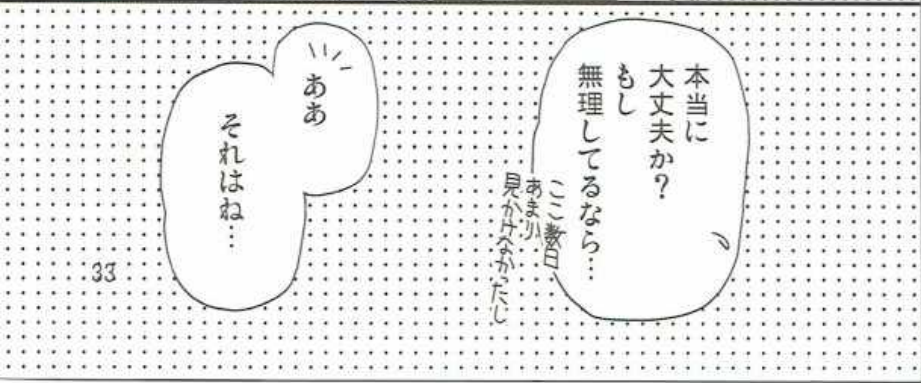
めずらしいね  
提督がここに  
来るなんて



あれから  
調子はどうだ？



うん 平気  
むしろ前より  
いいくらいだよ



本当に  
大丈夫か？  
もし  
無理してるなら……

ああ  
それはね……

（ここ数日、  
あまり  
見かけなかったし）





バカバカバカ  
時雨の  
バカバカ



もうあんな事  
しちゃだめ  
なんだから  
うわああん

三日月  
三日月

泣き続ける夕立が  
落ちつくまで  
ずっと慰めてたんだ

三日月  
三日月



…もう一人で  
ムチャはしないよ  
夕立に僕と  
同じ思いを  
させてしまう所  
だったから…

僕の方が  
残った者の気持ち  
知っていたはずなのに…  
バカだよ  
結局僕は周りの事が  
見えていなかったんだ



これからは  
提督と皆と  
一緒に進んでいこうと  
思う

立ち止まったままじゃ  
いつか彼女達に  
会えた時  
顔向けできないしね

それに気づかせてくれた  
提督に感謝してるんだ

だから提督の望みも  
言ってよ  
僕にできることなら  
なんでもするからさ



え？  
望み？  
俺が時雨に  
望むこと…か



それじゃあ  
いつかの続き

時雨の事を  
聞かせてほしいな

僕に  
興味があるの？

僕も提督に  
聞いてほしい

昔のこと  
今のこと  
これからのこと

いいよ

なんでも聞いてよ

彼女達のこと  
皆のこと  
提督への想い——…

いつべんじゃなくていい  
時雨のように  
少しずつ  
積み重ねるように  
色々なことを——

—改めて

これからも  
よろしくね  
提督！

～END～



ゲストのお誘い  
ありがとう  
ございました!

時雨ちゃん  
好きだああああ

ハトリピョッ  
・(8)・

◇最後まで読んでくださりありがとうございました！あんころもちと申します。  
前書きを書くスペースがなかったので、こちらで…。

今回の艦これ本は提督×時雨本です。  
アニメ化の前にぼんやりと思いついた漫画なので100%脳内妄想設定の艦これ漫画  
です。広い心で見てやってくださるとありがたいです…っ

時雨描けて嬉しい！。ボクっ子でどこか儂げで、見るたびほんわりします。  
時雨を見たとき、このままだと他の艦娘の身代わりに死んじゃいそうな印象でした。  
なので表紙は他の艦娘の身代わりに撃沈して今度は護れたよと満足して沈んでいく  
イメージです。  
表紙は2014年の夏に作ったのを使っているのので2014年夏表記です（汗

今回の漫画は、ある意味自分の死しか見てなかった時雨を皆と共に生きていきたいと  
心の中で本当は願っていた事を、提督さんが気づかせるという内容です。  
最後には記憶と共に前向きに皆と生きて欲しい！心からの時雨の笑顔が見たい！  
という事で描きました。  
こんな長いP数慣れてなくて拙い部分が多いと思いますが  
最後に時雨は心からの笑顔を見せて、自分としての生き方を見つけたよと  
そんな漫画です。時雨愛してます。他の艦これで、このP数は描けない…orz

姫は鉄底海峡（アイアンボトム・サウンド）の編成です。  
夕立も「アイアンボトム・サウンド」って、ホントに怖い言葉よね？って言ってたのでw  
実体験ですが自分の所の夕立強いけど、被弾率が高くて…（汗  
夕立は提督の事を、お父さんかお兄ちゃんみたいな感じで懐いてます。  
天真爛漫だけど、他人の心を感じ取る子というイメージなので  
時雨が提督の事を好きと気づいて嬉しい（時雨が嬉しいと、自分も嬉しい！）  
他の艦娘達はもちろん、特に時雨の事が大事で大好きな元気いっぱいな子で描いてます。  
夕立可愛いですよ！大好きだ———！！

あ、艦これの脳内妄想で艦娘は本体の艦の高さ分は浮く事ができると思ってたりします。  
↑日常では滅多にやらない

玖条イチソさんの艦娘の中破絵がたまらなく好きなので、中破状態の時雨でエロが  
描けて満足です。時雨の下着は白verのも見たかったので、この本では白パンツでw  
破れパンツ最高！ 破れパンツ大好きです！！

最後にゲストで時雨を描いてくださった羽鳥びよこ先生に感謝を…！  
やっぱり時雨可愛い！時雨かわいい！！かわいい！！と再確認できる幸せ…。  
お忙しい中、本当にありがとうございました！！  
この本でお迎えできた事が、本当に嬉しく幸せです。

次は、もっとお気軽に見れる本が出ると思います。  
それでは、また次の本でお会いできれば嬉しいです。

\*\*\*あんころもち\*\*\*





# Drizzling Rain

\*\*発行日…2015年5月2日  
(COMIC1☆9)

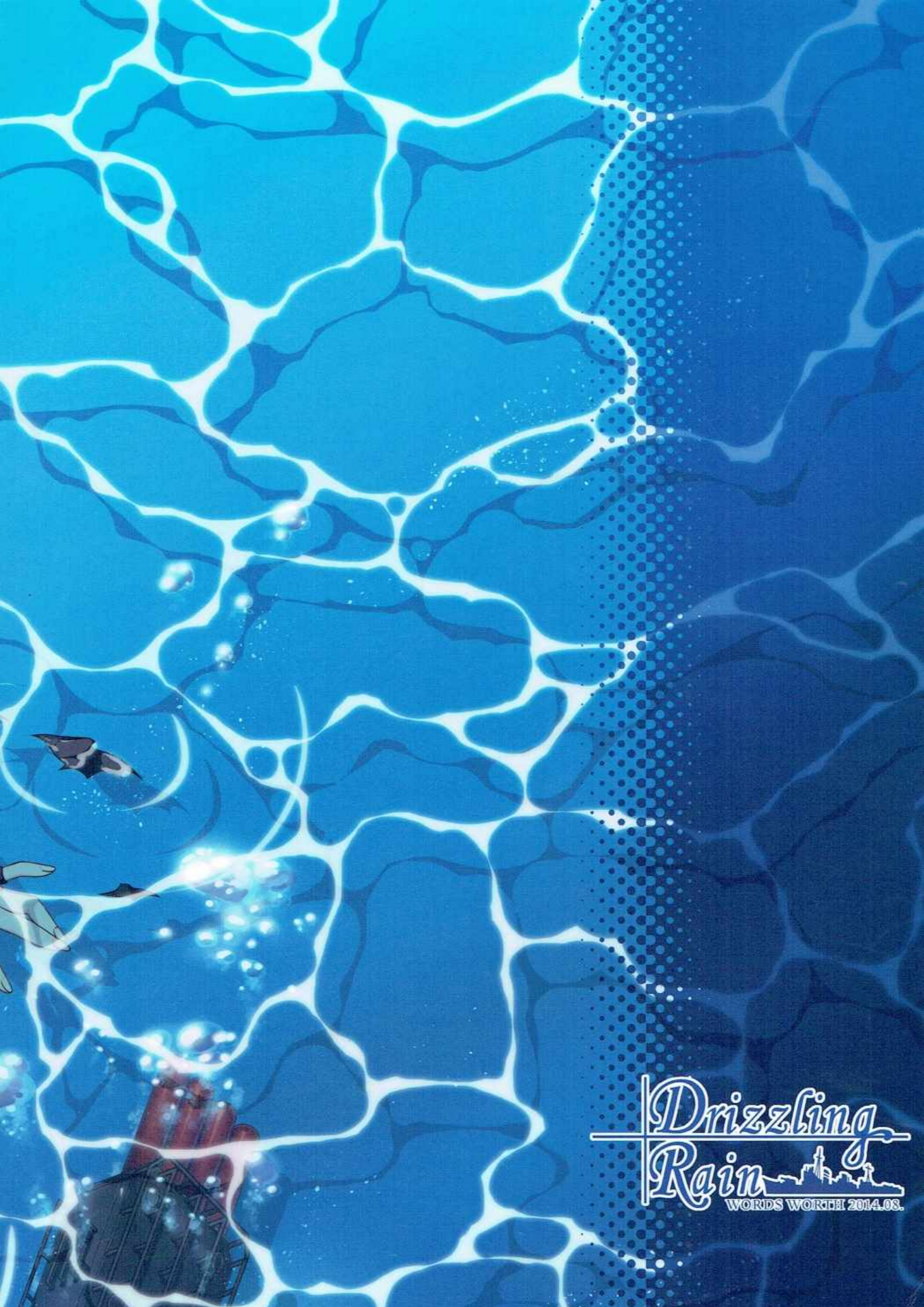
\*\*発行/発行人…ワーズワース/あんころもち  
\*\*印刷所…緑陽社

\*\*連絡先…[ankoro23@excite.co.jp](mailto:ankoro23@excite.co.jp)  
\*\*Twitter…[ankoro\\_san](https://twitter.com/ankoro_san)  
\*\*Pixiv…974355

・近況や趣味の漫画などをPixivにアップしています。  
・本の感想などありましたらTwitterやPixivでいただけると、とても嬉しいです…!

※本書は成人指定・有害図書です。未成年者の購読・閲覧を禁止します。  
※無断転載・複製・インターネット上のアップロード、転売目的の購入は固くお断りします。





Drizzling  
Rain

WORDS WORTH 2014.08.